

写真が語る

# 福島市の100年



600枚の懐かしい写真が語る  
ふるさとの100年

さよなら路面電車が停まる中合前(昭和46年)

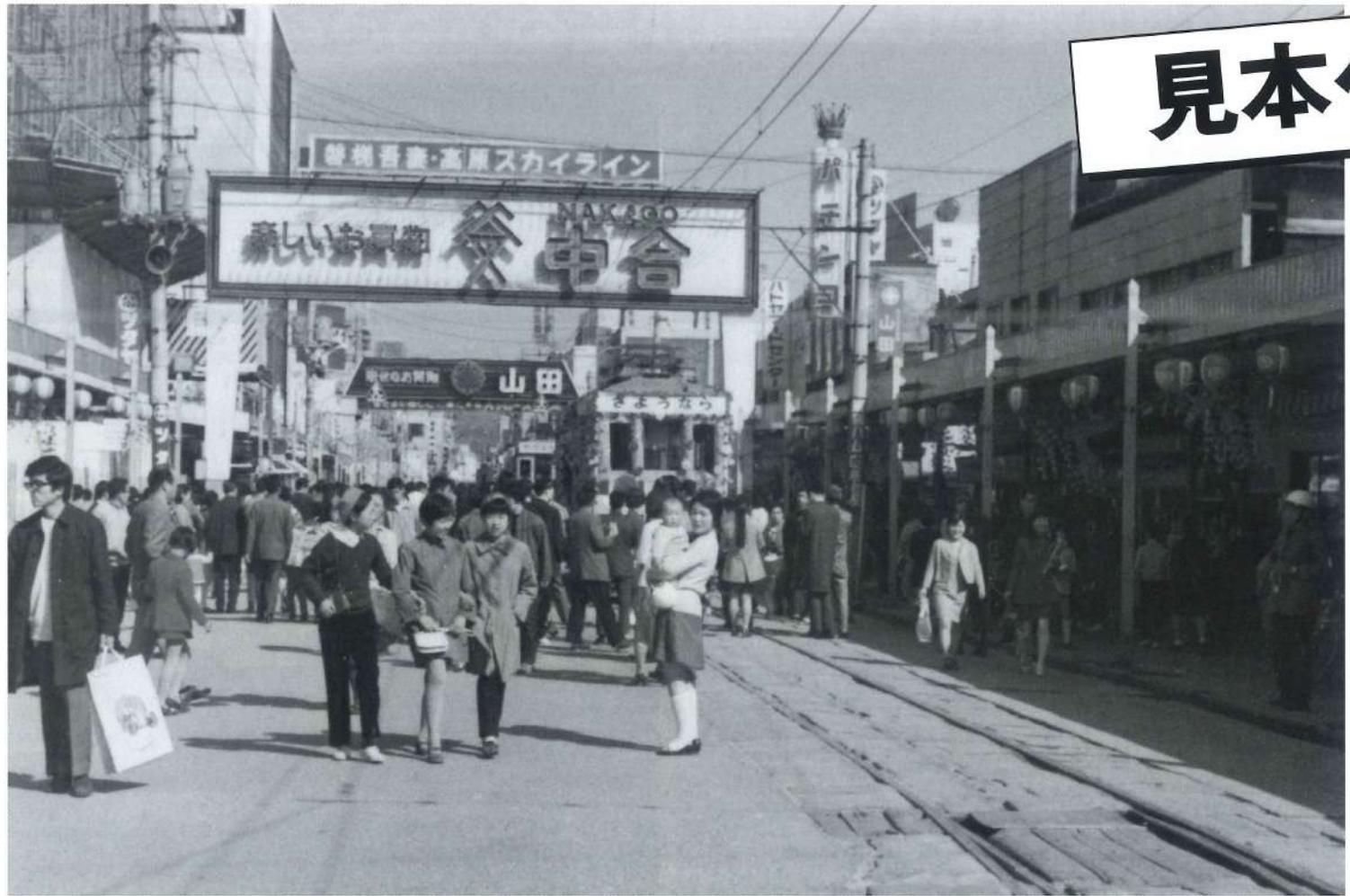
6月下旬発売

部数限定出版

## ご予約受付中!

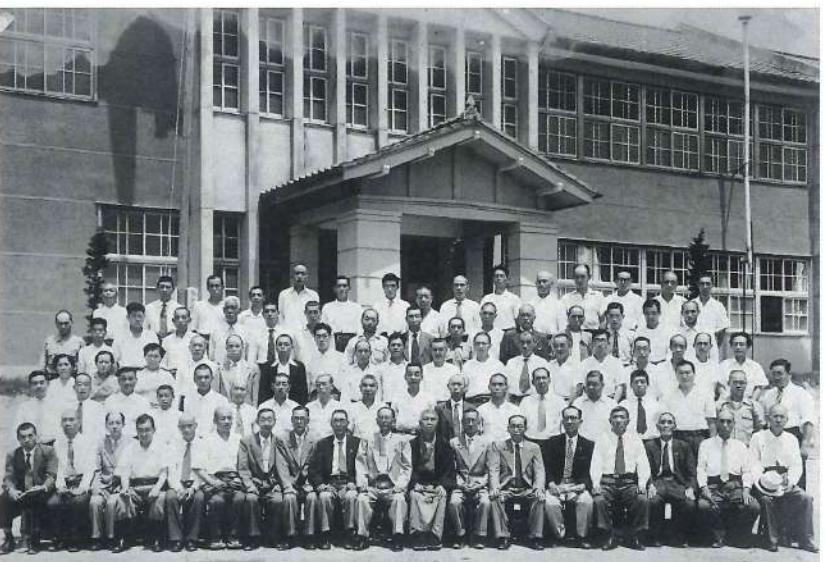
A4判・上製本・280頁・写真600枚・定価9,990円(税込) 発売元 (株)福島県教科用図書販売所  
発行元 (株)いき出版

# 見本ページ



▲「チンチン電車」とよばれて親しまれた福島交通飯坂東線の廃線が決まり、記念列車が運行された。明治41年の福島一湯野間の開業に始まり、昭和46年4月12日に廃止となった。記念列車の運行には多くの市民が集まり、名残を惜しんだ。(昭和46年)

**特色3**  
ふるさと100年の歩みが  
懐かしい写真でよみがえる!



▲福島市編入当日、立子山中学校の正面玄関で撮影された立子山村役場職員の記念写真である。同村は明治26年に発足し、昭和30年7月10日、福島市に編入となった。(昭和30年)



▲福島稲荷神社秋の例大祭で屋台を引きながら天神町を練り歩く陣場町会の子どもたち。祭り当日は多くの露店が並び、各町会の囃子が響き渡る。(昭和30年代)

**特色1**  
写真提供者100人以上  
600枚の写真を厳選!

▼東北の名湯のひとつ、飯坂温泉。その歴史は古く、ヤマトタケルにまつわる伝説も残る。写真は温泉街を流れる摺上川に架かる十綱橋付近の風景で、旅館や土産物店、食堂などが立ち並ぶ。左奥には福島交通の飯坂温泉駅の屋根が見える。(昭和30年代)



▲現在の福島駅東口広場にあった噴水。駅のシンボルとして親しまれ、待ち合わせ場所としても利用された。ここで写真を撮る人たちも多かった。この年、東京オリンピックが開催され、福島市内でも聖火リレーがおこなわれた。(昭和39年)

**特色2**  
地域のさまざまな  
風景・出来事を幅広く収録!



▼松川町中町で撮影された福島市消防団第29分団。この付近は奥州街道の宿場として栄えた八丁目宿にあたる。昭和30年、松川町、金谷川村、水原村、下川崎村が合併し、新たな松川町が発足。昭和41年に福島市に編入された。(昭和40年代)

